

### 制度の案内と要綱の改正を

(一般質問の続き) さらに私は、中学卒業までの医療費無料化が実現したのに、就学援助制度案内や要綱が改正されていない。具体的なわかりやすい、正確なものに改正をすべきであり、不要となった医療費分を補正提案すべきだと追及しました。

教育長は「そのように案内を改正し、要綱を検討する。医療費分212万円が不要となり、次議会に提案する」と改善を約束しました。

### 65歳以上の希望者全員に

緊急通報システム・命のペンダントが、一人暮らし65歳以上世帯の5%しか利用されていません。

私は、心疾患等の利用者制限をなくし、65歳以上の一人暮らしの希望者全員に支給すべきだと質しました。

市長は、本人負担もあり、費用もかからないが慎重に検討すると答弁。

### 藤沢中央通り線信号機設置



藤沢中央通り線の右折信号機が必要な交差点

バイパスから駅に通じる藤沢中央通り線の2カ所の交差点が危険です。

私は、スーパー角の交差点に押しボタン信号機と久保稻荷線交差点に右折信号機の設置を要請しました。

市長は、スーパー角の交差点は死亡事故もあり危険と認識しているので、最優先で要請する。久保稻荷線交差点も右折できず渋滞しており優先力所として公安委員会に要請すると積極的な取り組み姿勢を示しました。

6月のある日、小鳥が窓ガラスに激突。失神していたが、2・3分すると手から飛び立っていききました。



### 基地と防災対策特別委員会

市議会に基地・交通・防災の3特別委員会が設置されました。私は引き続き基地対策と新たに設置された防災対策特別委員会に所属することになりました。

興味をお持ちの方、ご指導をよろしくお願いいたします。

義援金募金・ご意見、赤旗購読  
申し込みは 石田よしおへ  
電話Fax 2964-4048 携帯070-5086-2075  
日本共産党入間市議団HPをご覧ください

## 国基準に就学援助制度拡大と改正を命のペンダントの制限を撤廃すべき

みなさまにご支援をいただき、10期目の議員生活がスタートしました。

市議会初日に「35年の特別表彰」を全国と埼玉県議長会からいただきました。

「住民こそ主人公、住民のために」という日本共産党の根本精神が、35年の議員生活を支え、市民のご支援をいただけていると思っています。

子どもや孫たちのためにも、あらゆる戦争に反対し、平和憲法を守ること、今の世界の科学では制御できない「原発」は、直ちに廃棄を決定し、数十年はかかる処理作業に進むべきと考えています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

私の今議会の一般質問は次の通りです。ご意見をお寄せください。

### 困窮世帯への子育て支援

「アベノミクス」によりユニクロ会長は一日55億円も資産を増加させています。一方、市民生活は、円安

による輸入品の値上がりで小麦・食パン・紙類などの値上げが始まり、今後消費増税が8%、10%へと予定され、さらに社会保障後退でたいへん厳しい暮らしに向かっています。

私は、生活保護基準の1.3倍までの家庭を対象にした就学援助制度に国が加えたクラブ活動費・生徒会費・PTA会費を追加すべきだと質しました。

市長は国からその3項目の補助金・交付金を受け取っているが、県内の状況を見て検討すると答えました。



春から庭の見張り役となった埴輪の鹿

日本共産党入間市議会議員

## 石田よしお市議会報告

(2013年7月号) 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ:「日本共産党入間市議団から石田よしお」へ



# 生活必需品の値上がり続くなか

## 第2回定例議会

# 8月から生活保護基準が引き下げに

今議会に市から提出された21議案のうち、日本共産党は一般会計補正予算に反対し、その他の議案には賛成しました。

一般会計補正予算には、生活保護と中国残留邦人生活支援事業の給付費の変更に伴うシステム改修費が計上されました。

### 4人家族で月額6千円も減額に

これは、政府が物価の下落などを理由に生活保護費の支給額を段階的に削減するためのシステム改修に要する予算です。

今年の8月から支給額が3年かけて減らされ、最高10%の減額になります。40

代夫婦で小学1年生と2年生の子供がいる世帯では8月から月額6070円の引き下げとなり、平成27年度にはこの3倍の引き下げとなります。

### 食料品値上げでさらに厳しく

政府が引き下げの理由のひとつとしている物価下落の中身を見ると大きく下がっているのがパソコンやテレビなどの電化製品です。生活保護世帯の多くは家電製品を購入する余裕がありません。

逆に小麦、食用油などの食料品や生活必需品は値上がりしています。アベノミ

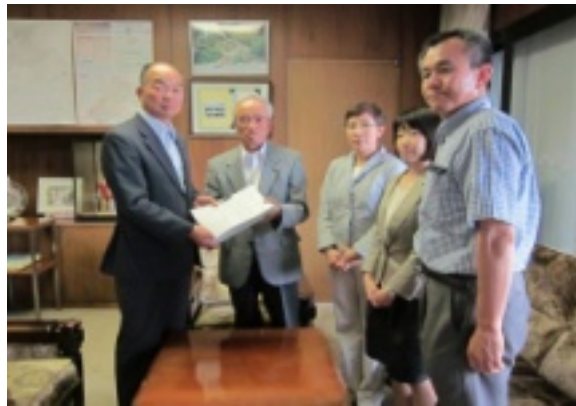
クスで生活が厳しさを増しています。

また生活保護費の引き下げは、新たに申請しても受給できない世帯が増え、年金や最低賃金、就学援助制度など多くの制度にも悪影響を与えます。

日本共産党入間市議団は「貧困と格差をさらに広げる生活保護基準引き下げを前提としたシステム改修の予算には賛成できない」と反対討論を行いました。



### エアコン署名市長に提出



日本共産党市議団は、「小・中学校へのエアコン設置を求める署名」の第2次分を田中市長に提出しました。

### 「埼玉県立大学に医学部設置」求める意見書

埼玉県は人口10万人当たりの医師数が149人と全国最下位です。一方で、高齢化のスピードが全国で最も速く、医師不足の解消は緊急課題となっています。今議会に医師不足解消を求める意見書(案)が提出されました。

「全国的に医師不足が問題になっているなか、埼玉県は人口対比で医師数、一般病床数が全国で最も少ない。産科や小児科などの病院勤務医をはじめ、特に周産期医療、救急医療に携わる医師不足は

深刻であり、医師の勤務実態は過酷な状況である。急速な高齢化にともない、高齢者福祉や医療サービス体制の充実を求める県民の要望は、常に最上位である。

医師不足であるにもかかわらず、埼玉県内の国公立大学には、医学部が設置されていない。医師不足の解消は、県民の切実な願いであり、埼玉県立大学に医学部を設置することが強く求められている」との意見書が議会最終日に全会一致で可決されました。

## 平和憲法は世界遺産

元自民党幹事長の古賀誠氏が赤旗「日曜版」に登場しマスコミで話題になっています。古賀氏は、安倍首相の憲法96条改定の動きに黙っていられなくなったとのこと。一貫した政治姿勢を貫く共産党を信頼しての登場です。

「現行憲法の平和主義、主権在民、基本的人権という崇高な精神は尊重しなければならない。なかでも平和主義は『世界遺産』に匹敵する」と古賀氏は強調しました。

いまこそ、戦争反対を貫き、平和憲法を守り生かす政治の実現を。平和憲法守れの輪を広げに広げましょう。

## 共産党議員の一般質問

- 小出わたる議員 学童保育の充実とやかん坂に歩道を
- 石田よしお議員 就学援助制度の拡充、命のペンダント
- 吉沢かつら議員 認可保育所の増設で待機児童の解消を
- 安道よし子議員 学校にエアコン設置で教育環境改善を

## 日本共産党市議会報告

2013年7月 発行/日本共産党入間市議団  
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883